

平成24年度第1回東山区基本計画推進委員会

日時 平成24年6月28日(木)

午前10時～

場所 東山区役所3階大会議室

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

- (1) 東山区基本計画推進委員会の発展改組について p 1
 - ・ 資料1 「東山の未来」区民会議委員名簿
 - ・ 資料2 「東山の未来」区民会議設置要綱
- (2) まちづくり支援事業の審査会について p 8
 - ・ 資料3 審査の視点及び配点
 - ・ 資料4 東山区まちづくり支援事業審査会委員名簿
 - ・ 資料5 審査事業一覧
- (3) 観光支援コミュニティプロジェクト発足について p 13
- (4) 平成24年度各地域及び各種団体での取組について p 14

4 報告事項

- (1) プロジェクトの活動について p 15
- (2) まちづくりカフェ@東山について(第2, 3回交流会等) p 18
- (3) 平成24年度東山区運営方針策定について p 22

5 そ の 他

6 閉 会

議事 1 東山区基本計画推進委員会の発展改組について

1 発展改組の理由

東山区基本計画推進委員会は、「東山区基本計画に掲げるまちづくり方針に基づき、目指すべき未来像を実現するための事業の進行管理と支援を行うことを目的」（設置要綱抜粋）として、平成23年11月に発足した。

また、区民が自ら考え、提案し、行動する取組を、区役所との共汗によって推進していくための予算システムである、「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」が平成24年度から創設されるなど、区の権限が強化されるとともに、これまで以上に区民との協働のまちづくりを推進していくことが求められている。

そのため、東山区では、区基本計画の進行管理や支援という既存の役割にとどまらず、より幅広い専門知識や区民の意見を反映し、「東山の未来」について検討する組織を設立するため、東山区基本計画推進委員会を発展改組することとする。

2 新組織の名称について

以下の名称を事務局案とする。

- ・ 「東山の未来」区民会議

3 発展改組後の組織の役割

主に以下の各事項について審議を行う。

- ・ 東山区の活性化、まちづくりのための東山区の魅力向上や課題の解決に関すること
- ・ 東山区基本計画の推進に関すること
- ・ 推進プログラムに関すること
- ・ 東山区区民提案・共汗型まちづくり支援事業に関すること

4 組織の充実

(1) 新たな委員の参画について

「東山区基本計画推進委員会」の現委員に加え、東山の魅力や課題の解決に関して専門知識を有する学識経験者やNPO法人等、また、より幅広い区民の意見を反映する観点から、東山区民公募委員に参画いただく。

① 学識経験者（2名）

- ・ 京都造形芸術大学教授 関本徹生氏
- ・ 京都女子大学准教授 山田健司氏

② NPO法人等（2名）

- ・ NPO法人きょうとNPOセンター 若生麻衣氏（京都市東山いきいき市民活動センター長）
- ・ （公財）京都市ユースサービス協会 山田宏行氏（京都市東山青少年活動センター長）

③ 区民公募委員（2名）

市民しんぶん区版8月号に掲載のうえ、8月15日から募集を開始。

※ 委員構成一覧は、別紙のとおり。

(2) 部会の設置について

専門的な事項について研究・議論する場として、発展改組後の組織の下に、必要に応じ部会を設置する。

各プロジェクトの企画、運営、進捗管理、見直しを行うため、「プロジェクト部会」を設置する。

5 東山区基本計画企画運営会議について

東山区基本計画推進委員会の発展改組にともない、東山区基本計画企画運営会議は、発展的に解消する。

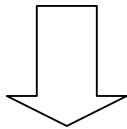
< 発展改組後の組織体制 >

「東山の未来」区民会議（仮称）

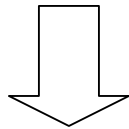
【役割】主に以下の各事項について審議，承認を行う。

- ・ 東山区の発展，活性化，まちづくりのための東山区の魅力向上や課題の解決に関すること
- ・ 東山区基本計画の推進に関すること
- ・ 推進プログラムに関すること
- ・ 東山区区民提案・共汗型まちづくり支援事業に関すること
- ・ その他，区長が必要と認める事項

【構成】東山区基本計画推進委員会の委員，及び学識経験者2名，NPO法人等2名，区民公募委員2名



まちづくり支援事業
審査会



必要に応じて
部会を設置

各 部 会

- ・ プロジェクト部会
- ・
- ・
- ・

まちづくりカフェ@東山

東山区内でのまちづくりに関心のある方々が集い，自主的なまちづくり活動を行う場。

まちづくりに関する情報交換や活動・交流を行う。



「東山の未来」区民会議 委員名簿(案)

下線部：新規の委員

	団体名	役職	氏名	備考
学識経験者	宗教学者（基本計画策定委員会座長）	—	山折 哲雄	
	京都女子大学家政学部准教授	—	井上 えり子	
	京都造形芸術大学教授	—	<u>関本 徹生</u>	
	京都女子大学家政学部准教授	—	<u>山田 健司</u>	
地元代表	有濟連絡協議会	会 長	浅田 信夫	
	栗田自治連合会	会 長	安田 茂夫	
	弥栄自治連合会	会 長	今西 知夫	
	新道自治連合会	会 長	田中 正博	
	六原自治連合会	会 長	本政 八重子	
	清水自治会連合会	会 長	田中 博武	
	貞教自治連合会	会 長	長田 止夫	
	修道自治連合会	会 長	濱田 健二	
	一橋自治協議会	会 長	田中 満	
	月輪学区自治連合協議会	会 長	池田 良穂	
今熊野自治連合会	会 長	石井 良之		
各種団体代表	東山区社会福祉協議会	会 長	木村 信夫	
	東山区保健協議会連合会	会 長	村井 正	
	東山区民生児童委員会	会 長	松永 洋子	
	東山区体育振興会連合会	会 長	加藤 雅也	
	東山区シニアクラブ連合会	会 長	前田 新次	
	東山区地域女性連合会	会 長	本政 八重子	(再掲)
	東山区交通安全対策協議会	会 長	村田 敏光	
	東山消防団	団 長	岡本 喜八	
	東山少年補導委員会	会 長	安田 茂夫	(再掲)
NPO法人等区民公募委員	NPO法人きょうとNPOセンター (京都市東山いきいき市民活動センター長)		<u>若生 麻衣</u>	
	(公益財団法人)京都市ユースサービス協会 (京都市東山青少年活動センター長)		<u>山田 宏行</u>	
区内行政機関等			<u>区民公募委員</u>	
			<u>区民公募委員</u>	
	東山警察署	署 長	朝子 功三	
	東山消防署	署 長	岡田 照雄	
	南部まち美化事務所	次 長	井尻 圭一	
東部土木事務所	所 長	福井 博茂		
東山区役所	区 長	永井 久美子		

「東山の未来」区民会議設置要綱（案）

（目的）

第1条 東山区の基本計画の推進を図るとともに，東山の地域力を生かし，課題解決と魅力の向上に取り組み，広範な区民が主体的に東山の未来について考える場として，『東山の未来』区民会議（以下「区民会議」という。）を設置する。

（審議事項）

第2条 区民会議は，前条の目的を達成するための事業を行う。

（構成）

第3条 委員は，次の各号に掲げる者のうちから東山区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 別表に定める区内自治連合会組織，各種団体及び行政機関の代表者
- (3) 区民公募委員
- (4) 前3号に掲げる者のほか，東山区長が適当と認める者

（委員の任期）

第4条 委員の任期は，3年とする。ただし，補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

- 2 委員の任期の途中において，新たに委員となった者の任期は，委嘱の日から他の委員の任期の末日までとする。
- 3 委員は再任されることができる。

（座長及び副座長）

第5条 区民会議に座長及び副座長を置く。

- 2 座長は，委員の互選により定め，副座長は座長が指名する。
- 3 座長は，委員会を代表する。
- 4 副座長は，座長を補佐し，座長に事故があるときは，その職務を代理する。

（招集及び議事）

第6条 区民会議は，座長が招集する。

- 2 座長は，会議の議長となる。
- 3 座長は，必要があると認めるときは，委員以外の者を会議に出席させ，意見の陳述，説明その他の必要な協力を求めることができる。

(部会の設置)

第7条 区民会議には、専門的な事項について研究・議論する場として、部会を置くことができる。

- 2 新たな部会の設置に関しては、区民会議の承認を得るものとする。
- 3 部会には、必要に応じて委員以外の者の参加を認めるものとする。
- 4 その他部会に関することは、各部会において定めるものとする。

(東山区まちづくり支援事業審査会の設置)

第8条 区民会議に、「東山区まちづくり支援事業助成金交付要綱」に定める、「東山区まちづくり支援事業助成金審査会」を設置する。

2 東山区まちづくり支援事業審査会は、東山区まちづくり支援事業助成金の交付、不交付、交付額及び交付条件の審査に関する事項を所掌し、その結果を区民会議に報告するものとする。

(庶務)

第9条 区民会議の庶務は、東山区役所地域力推進室に置く。

(補則)

第10条 本要綱に定めるもののほか、区民会議に関し必要な事項は、座長が定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成24年 月 日から施行する。

(経過措置)

- 2 第6条第1項の規定にかかわらず、最初の区民会議は東山区長が招集する。
- 3 第4条1項の規定にかかわらず、最初の委員の任期は、平成27年3月31日までとする。

団体名	
地元代表	有濟連絡協議会
	粟田自治連合会
	弥栄自治連合会
	新道自治連合会
	六原自治連合会
	清水自治会連合会
	貞教自治連合会
	修道自治連合会
	一橋自治協議会
	月輪学区自治連合協議会
	今熊野自治連合会
各種団体代表	東山区社会福祉協議会
	東山区保健協議会連合会
	東山区民生児童委員会
	東山区体育振興会連合会
	東山区シニアクラブ連合会
	東山区地域女性連合会
	東山区交通安全対策協議会
	東山消防団
	東山少年補導委員会
区内行政機関等	東山警察署
	東山消防署
	南部まち美化事務所
	東部土木事務所
	東山区役所

議事2 東山区まちづくり支援事業の審査会について

1 日時 平成24年7月2日(月) 午前9時～午後1時(予定)

2 場所 東山区役所 地下1階 会議室1

3 内容

(1) 書類審査

審査員には事前に申請書類をお渡しする。

(2) 申請団体・グループによるプレゼンテーション

申請書類に記載されていないことや、特にアピールしたいことなどを、簡潔に発表いただく。

(3) 質疑応答

事業内容や予算などについて、委員からの質問に回答いただく。

(4) 上記による評価後、採択の可否を合議で決定する。

※ 審査の視点及び配点は別紙のとおり

4 審査員

別紙委員名簿のとおり。

5 申請事業

各事業の事業名及び概要は、別紙申請事業一覧のとおり

(1) 申請件数

18件(課題解決型事業約10件, 自由提案型事業約8件)

(2) 助成金申請総額

約260万円(参考: 予算額160万円)

(課題解決型事業約150万円, 自由提案型事業約110万円)

(3) 事業費総額

約490万円

(課題解決型事業約230万円, 自由提案型事業約260万円)

審査の視点及び配点

項目及び配点	審査の視点
地域性 5点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民（「地域」とは、概ね学区（元学区含む。）とする。以下同じ。）を対象とした計画となっているか ・ 計画や事業内容が、地域住民の理解を得られるものであるか
公益性 5点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当事業を実施した場合に、持続的に地域社会に有益な結果をもたらす事業であるか ・ 区基本計画の推進に貢献する取組であるか
先駆性 5点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他に類似事業のない先進的な取組か ・ 他団体の参考になるような工夫が見られるか ・ 他団体・周辺地域への波及効果が期待できるか
継続性 5点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助終了後も事業、または事業効果の維持・向上が可能である取組か、またはそのような仕組みや仕掛けが考慮された計画となっているか
事業計画の適切さ 5点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的は明確であるか ・ 事業の内容は具体的であるか ・ 事業の実施スケジュールに無理はないか、反対に余裕を持ち過ぎた計画になっていないか ・ 全体として効果的・効率的な計画となっているか
収支予算の適切さ 5点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収支計画に無理があるもの、必要性が低いもの、不明なものはないか ・ 収支予算の内容は具体的でわかりやすいか

東山区まちづくり支援事業審査会 委員名簿

種別	団体名	役職	氏名
学識経験者	京都女子大学	家政学部准教授	井上 えり子
	京都造形芸術大学	教授	関本 徹生
地元代表	有濟連絡協議会	会 長	浅田 信夫
	今熊野自治連合会	会 長	石井 良之
各種団体代表	東山区民生児童委員会	会 長	松永 洋子
NPO法人	きょうとNPOセンター	事業コーディネーター (京都市東山いきいき市民活動センター)	西本 好江
行政関係	東山区役所	地域力推進室長	山口 昌巳
		まちづくりアドバイザー	大塚 敏之

審査事業一覧

種別	事業名	事業概要など
課題解決型事業	1 保育園施設を活用した子育て支援事業	保育園で行ういろいろなイベントを通して、親子のつながりや地域とのつながりと深める。 (取組項目34「地域に根ざした子育てネットワークの拡充と子ども・子育て情報の充実」)
	2 町内会結成事業	マンション分譲の開始時に結成できなかったマンション居住者による町内会を結成する。 (取組項目56「世代間交流ネットワークづくりの促進」)
	3 七条大橋百周年記念・橋めぐり&シンポジウム	来年七条大橋が建設百周年を迎えるのを機に、東山区に架かる鴨川の橋めぐりツアー、シンポジウムなどを行い、市民・区民の関心を高め、鴨川の景観まちづくりを考える機運を高める。 (取組項目27「暮らしに息づく「ほんもの」体験や、雅やかな「ほんもの」を堪能する滞在型観光メニューの創設」)
	4 古川町センタープロジェクト	文化芸術により、古川町商店街内に位置する古川町センターの活性化、地域交流を行う。 (取組項目25「空き店舗を活用した「面白い」の育成」)
	5 東山区における「食」を通じた地域ネットワーク活性事業	地域の高齢者(食育ボランティア)による料理教室の実施によって、長年守り、伝えられてきた食文化を次世代へ継承し、世代間交流ネットワークの形成を促進する。 (取組項目17「東山食文化の普及・促進」、取組項目56「世代間交流ネットワークづくりの促進」)
	6 粟田学区における白川沿いの道路空間の安全・快適性の創出の推進	粟田学区における白川沿いの道路空間の安全・快適性の創出を目的に、環境アセスメントや、周辺住民の意識調査などを行う。 (取組項目52「安全、快適に通行できる道路空間の整備」)
	7 福祉ボランティアの育成事業及び高齢者への情報発信事業	高齢者が安心して暮らせる地域社会づくりのため、研修を通じた福祉活動をすすめるボランティアの育成や、認知症に関する講演会を行う。 (取組項目41「福祉ボランティアの育成と地域で支え合える体制づくりの推進」)
	8 貞教子育てサロンいちご組	未就園児の子ども達とその母親に、学区を超えた出会いの場、情報交換の場、安心して遊べる場を提供することにより、子育て中の母親を支援する。 (取組項目34「地域に根ざした子育てネットワークの充実と子ども・子育て支援の充実」)
	9 図書館から始める街あるき ～「京ひがしやま文学散歩」を片手に～	「文学作品ゆかりの街歩きコース」を開発し、東山の地域資源(魅力)の発見及び観光コンテンツの充実を目指す。また、本を介して多世代が交流を深める機会を提供する。 (取組項目27「暮らしに息づく「ほんもの」体験や、雅やかな「ほんもの」を堪能する滞在型観光メニューの創設」、取組項目56「世代間交流ネットワークづくりの促進」)
	10 弥栄学区高齢者健康サポート事業	学区の交流会に参加する高齢者や、孤立しがちな高齢者と活動を支援するボランティアを結核から守るための活動を通して、地域の絆を強化し、ボランティアの育成及び風土の醸成を目指す。 (取組項目56「世代間交流ネットワークづくりの促進」、取組項目41「福祉ボランティアの育成と地域で支え合える体制づくりの推進」)

審査事業一覧

種別	事業名	事業概要など	
自由提案型事業	11	ワールドミュージックによる地域の活性化	東山区在住の児童及びその家族に、ワールドミュージックを通して世界の様々な文化・芸術を学んでもらう。
	12	古川町商店街華頂門掃き隊	古川町商店街店舗前の路上について、華頂大学の学生が定期的に門掃きをすることをきっかけに、商店街の活性化に寄与する。
	13	五条坂・茶わん坂の陶芸文化 過去・現在 (仮題)	五条坂・茶わん坂近辺の陶芸家の作品展などを、各作家の工房や空き店舗などを活用し、2週間程度の期間で実施することにより、観光客に京都の文化の奥深さを認識していただくとともに、地域の方への歴史と文化の再認識、及び住民であることの誇りと喜びを取り戻していただく。
	14	会食のつどい	住み慣れた地域で、住み続けたいとの願いをかなえるため、孤食を避け、食事をともに作り、会食会を開催することにより、地域交流と居場所づくりを図る。
	15	グラウンドゴルフによる人々の交流事業	定期的に多世代の交流を図ることにより、健康の維持に努める。
	16	化粧地蔵ワークショップ	「化粧地蔵」という風習に関するワークショップ事業を開催することにより、新住民と旧住民を繋げ、地域特有の風習の浸透及び地域コミュニティの活性化を図る。
	17	ゲンジホテルの再生事業	白川の特徴を活かし、ホテルの再生による地域の活性化と、地域住民にホテルが飛ぶ自然豊かな白川を楽しんでいただくとともに、文化観光東山の発展に資する。
	18	高齢期丸ごと相談会	人生の締めくくりをどうするかについて、まるごと相談ができる機会をつくり、高齢者が抱える不安を軽減し、前向きに生きることを応援する。

議事3 観光支援コミュニティプロジェクト発足について

「観光支援コミュニティ」プロジェクトチーム活動計画（案）

1 チーム活動の目標

東山区は、日本有数の観光地であり高齢者や障害をお持ちの方、子ども連れの方、外国人など様々な観光客が訪れるまちである。

こうした方々に対して、バリアフリー等ハード面の整備ができない商店や観光施設でも、車いすの介助や荷物の一時預かりなど、困ったことに対する親切できめ細かいサービスを行い、安心して商店等の利用ができるようにすることで、観光客がより快適に東山観光を楽しむことができる。

そこで、少子高齢化社会の進展や外国人観光客の一層の増加を見据え、こうしたサービスを行う商店等による観光支援コミュニティを形成し、観光客に対し、各店舗が相互にそれぞれの取組について情報共有して補い合い、より充実した支援・おもてなしを行うことで、誰もが観光を楽しめるユニバーサルツーリズムを推進するものである。

2 プロジェクトチームメンバー

京都産業大学経営学部 松高 政 准教授をリーダーに同研究室ゼミ生及び、区民、地域住民、関係機関によりチームを構成する。

3 チームの活動期間

東山区基本計画の重点プロジェクトとして、前期推進プログラムの実施期間である平成26年度までの3ヵ年を活動期間とする。

4 取組方針

- 1 工事等のハード整備ではなく、おもてなしの心や気遣いなどソフト面でのバリアフリーを推進する。
- 2 様々な観光客が快適に観光を楽しめるサービスを提供しているお店等を掘り起こし、コミュニティへの参加を促進する。
- 3 コミュニティを活用し情報共有や意見交換を行うことで、東山のおもてなしサービスの一層の向上を図る。
- 4 コミュニティの取組を広く情報発信し、様々な方に安心して東山にお越しいただき、快適に観光を楽しんでいただく。

5 年次計画

取組計画		
24年度	25年度	26年度
コミュニティ組織の検討	運営組織の検討	運営組織の立ち上げ
コミュニティ参加店の募集	→	
キックオフイベントの開催	イベント実施	イベント実施
	会員ミーティングの開催	→
	研修会、講習会等の実施	→

議事 4 平成 24 年度各地域及び各種団体での取組について

東山区基本計画を区民ぐるみで推進することの一環として、平成 24 年度に地域団体や各種団体で取り組まれる東山区基本計画の推進に関する活動や、学区まちづくりビジョンに関連する活動について、報告書の提出を依頼する。

1 御報告いただく活動の例

- (1) 区基本計画に掲げる取組項目に関連する取組
- (2) 各学区が策定した「学区まちづくりビジョン」に掲げる「学区の目指す「まちな姿」」に関連する取組
- (3) 上記(1), (2)以外で、特に力を入れている活動

2 対象団体

各学区の地域団体、各種団体

3 その他

改めて文書で依頼を行う。また、取組内容については、当会議で報告する。

報告事項1 プロジェクトの活動について

地域の見守り支援プロジェクトチーム活動報告

1 チーム活動の目標

東山区の老年人口は約 12,000 人で、全人口に占める割合は約 30%と 3人に1人が高齢者の状態です。

高齢者や障害のある人は、買物や通院等の外出や、食事の支度等、日常生活における様々な場面で不便が生じています。また地域コミュニティの衰退等に伴う高齢者の所在不明や孤独死等様々な問題が表面化しています。

当プロジェクトでは、高齢化の一層の進展を踏まえ、高齢者と地域社会との交流を深め、高齢者を地域住民全体で見守るセーフティーネットの構築を進めるための取組を行います。

2 プロジェクトチームメンバー

山田健司京都女子大学准教授をリーダーに、区社会福祉協議会、地域包括支援センター、地域介護予防推進センター、地域の住民、大学生や区役所職員でチームを構成しています。

3 今年度の取組

- 1 空き家活用による地域の見守り拠点の創設
貞教学区に見守りサテライト「ひだまり」を開設しました。
さらに、同学区にもう一箇所設置（名称「お茶の間ハウス」）するとともに、今熊野学区でも設置する予定です。
- 2 買い物応援隊、エリア支援及びLED電球による地域相互見守り支援
買い物応援隊及びエリア支援については、継続して実施しています。
LED電球による見守りは、設置箇所を増設しています。
- 3 地域福祉に携わる方々への研修実施
メニューと講師を検討中です。



地域の見守りサテライト「ひだまり」



買物支援活動

空き家の活用促進プロジェクトチーム活動報告

1 チーム活動の目標

東山区内には、少子高齢化の進展とともに、数多くの空家が発生し、防犯、防火・防災上の課題や、周辺の住民生活への影響などを生じさせています。本チームでは、これまでの調査結果や、行政や地域の取組をもとに、空家発生のメカニズムに検討を加え、空家活用策の提案、空家所有者への啓発などに取り組むとともに、活用、改修、建替えを促進する行政施策への提言を行うなど、東山区の空家問題の解決に資する取組を行います。

2 プロジェクトチームメンバー

井上えり子京都女子大学准教授をリーダーに、地域の住民や区役所関係職員の参画によりチームを構成しています。

3 取組方針

- 1 空き家を増やさないための取組の推進
 - ・ 空き家の現況把握
 - ・ 啓発活動、管理・補修の代行システムの検討、利・活用の推進
- 2 空き家の建替、防火・耐震等改修の促進

4 今年度の取組

- 1 取組の基礎になる空き家の実態調査を行います。現在、対象学区を決めるため関係事業や地元との調整を進めております。
- 2 京都女子大学による空き家見守りボランティア事業との連携を得ながら、空き家にならないための啓発活動に取り組みます。



(イメージ写真)

手しごと職人のまち東山再発見プロジェクトチーム活動報告

1 チーム活動の目標

東山区内には、古くから京都の文化や都市の営みを支えてきた伝統的な手しごとを継承する「職人」が、数多く暮らし、その生業を続けています。

こうした職人の技術は、今日もなお伝統的な産業や文化を尊重し、暮らしに活かしている京都市民にとって、不可欠なものであるとともに、国宝や重要文化財の継承にも必要な貴重な日本文化の礎でもあります。

大量生産型の工業製品が安価で供給され、「もの」の価値が見失われがちな今日、これら職人の技術に今一度、光を当て、活性化を図り、次代に継承する取組みが欠かせません。

このため、本プロジェクトチームでは、こうした技術を持つ職人はもとより、広く区民の参画と協働のもとに、手しごとの価値、意義や重みを再発見し、こうした技術が集積する東山区の魅力を広く発信することを通じて、伝統的な手しごとの活性化と継承に貢献することとしてまいりたい。

2 プロジェクトチームメンバー

関本徹生京都造形芸術大学教授をチームリーダーに、地域の住民や区役所関係職員の参画によりチームを構成します。

3 取組方針

- 1 職人情報の収集と調査・分析、課題の抽出、並びに取組基盤の整備
- 2 職人の技術の保存・継承に向けた対策の検討
- 3 職人の技術の魅力発信と魅力に触れる取組の推進を通じた伝統的産業と東山区の活性化

4 今年度の取組

大学側で1次調査を終えている約200件の職人情報について、2次調査を行います。調査方法等に関するミーティング(7月2日予定)の後、週2回ヒアリング調査を行い、情報の収集と整理を進めます。11月を目処に、職人の工房を巡る見学会を行い、3月を目処に職人によるシンポジウムを行います。



machi-cafe at Higashiyama
まちづくりカフェ@東山



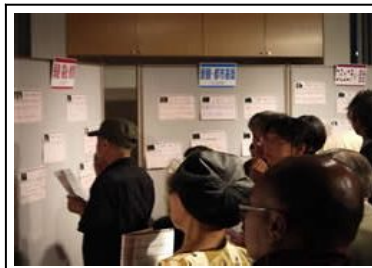
＜第2回交流会レポート＞

【日時】2012年4月25日 18:30～
【場所】東山区役所1F 交流ロビー
【参加者】41名
（男性:20名 女性:21名／初参加:17名）

【お見合いタイム】



顔写真つきPRシート作成



関心分野別にボードに掲示



気の合いそうな人は・・・



お見合いスタート！



どんなテーマで活動します？



ぜひ一緒に活動しましょう☆

【結果発表】



あの人と一緒に
こんな活動がしたい！



私もそのテーマの
仲間に入れて欲しい！

【ぜひ活動してみたいテーマ！】

- ①婚活サポート
- ②小学校の活用
- ③商店街の活性化
- ④空き家を活用した居場所作り
- ⑤アートを活用した地域活性化
- ⑥観光客をターゲットとした街の活性化
- ⑦学生との話し合いの場づくり



＜第3回交流会レポート＞

【日 時】2012年6月6日 18:30～
 【場 所】東山区役所1F 交流ロビー
 【参加者】51名
 (男性:19名/女性:32名/初参加:8名)

【テーマ別検討】



婚活サポート



アートを活用した
地域活性化



閉校小学校の活用



観光客をターゲット
とした街の活性化



学生連携



子育て支援



空き家を活用した居場所作り



商店街の活性化

【まちカフェから生まれたアイディア】

- ①「まち婚」
→東山のまち全体を会場とした婚活イベント
- ②「図書館からはじめる街歩き」
→東山が舞台の文学作品を使った街歩きツアー
- ③「東山まるごとアート」
→陶器関連イベントに相乗したアート祭り
- ④「ハグモミワークショップ」
→世代を超えた緩やかな子育て支援の場作り
- ⑤「一口店長のいるカフェ」
→商店街の空き店舗を活用したショップ運営

【ボランティアの輪】

＜広報チラシ＞



精華大 デザイン学科
メンバー

＜託児スペース＞



京女子大 ユネスコ
クラブメンバー

参加者の声 (VOICE)

第4回交流会のお知らせ！

【日時】2012年7月18日(水)18:30～

【場所】東山区役所1F 交流ロビー

【第2回交流会】



さらに一歩前進しました。少しずつ具体的にテーマが見えてきたように思います。



やりたい！という思いをもった方が多くてうれしいです。少し先が見えてきたように思います。



取り組みたいことが多くて困ります。まちづくりに強い思いをもっていらっしゃる方が多くて、心強いです。



東山区の人口を増やし活気あるまちにしたいです。若い人がたくさん転入して来れるよう、空き家の有効活用ができればいいと思います。



行政の力をきっかけに、地域住民が集まって大きな波にしたいです。

【第3回交流会】



地域の方のまちづくりに関する高い意識を感じられて良かったです。



東山区内のいろいろな方が集まることで、知恵を出し合う魅力的な場となっています。



同じ問題意識を持っている人と出会う機会として、非常に意義があるイベントであり、大いに期待できます。



具体的な成果を残したいです。継続的な事業ができればよいと思います。



だいぶテーマの絞込みができました。今後の展開が楽しみです！



プチカフェ -petit cafe-

お茶を飲みながら
"ワイワイ"と

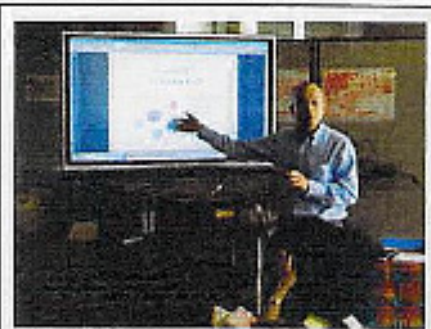
友達同士で知ってることを教えあうような
"アットホーム"な学びの場



開催レポート (東山区役所 1F 交流ロビー)

「はじめての Facebook」

5/20 (日) 13:30 ~ 15:00 【参加者:11名】



Facebookについて講義



ipadを使って初体験



早速デビューする人も！

「はじめてのファシリテーション」

6/1 (金) 18:30 ~ 20:00 【参加者:12名】



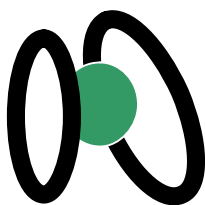
笑顔のグループワーク



重要ポイントの確認！



役割を決めて実演



東山区シンボルマーク

平成24（2012）年度 東山区運営方針



山紫水明の都

結び合う心

東山の未来

—東山区のまちづくりのキャッチフレーズ—



写真：（左上から）粟田大燈呂，東山区民ふれあいこどものまち，まちづくりカフェ@東山（5，6ページ参照）

平成24年4月

東山区役所

目 次

I	東山区基本計画前期推進プログラムについて	1
II	区民提案・共汗型まちづくり支援事業について	1
	1 区民提案型支援事業	
	2 共汗型事業	
III	主要な取組	2
	1 自然環境 目標 自然環境の保全	2
	(1) 歩いて楽しむ東山の推進 重点取組	2
	(2) 東山3K（観光・交通・環境）協力金会議と連携した取組の推進	2
	2 産業・観光 目標 経済活動の活性化	3
	(1) 手しごと職人のまち東山再発見 重点取組 【新規】	3
	(2) だれもが観光を楽しめるユニバーサルツーリズムの推進	3
	3 保健・福祉・教育 目標 健やかで心豊かな生活の確保	4
	(1) 地域の見守り支援プロジェクト 重点取組 【新規】	3
	(2) 保健・福祉・子育て支援の充実 重点取組	4
	(3) 地域の安心安全ネットワーク形成支援・継続応援事業	4
	4 景観・都市基盤 目標 安全で快適な都市づくり	5
	(1) 空き家を増やさないための取組の推進 重点取組	5
	(2) 木造文化を守り、災害に強いまちづくり 重点取組 【新規】	5
	5 コミュニティ・自治 目標 地域力の向上	6
	(1) 世代間交流ネットワークの推進 重点取組	5
	(2) 地域と大学の連携による東山区のまちづくりの推進	6
	(3) 「まちづくりカフェ@東山」の運営 【新規】	6
	(4) 区民サービスの向上の取組	6
IV	東山区役所各室・課の取組目標	7
V	東山区運営の総括表	8

区基本計画に掲げる重点取組であることを示しています

今年度からの新規事業であることを示しています

～ はじめに ～

東山区には、地域で脈々と受け継がれてきた自治の気風をはじめ、豊かな自然景観や長い歴史に培われた伝統文化など多くの個性と魅力があります。一方、市内で最も著しい少子高齢化、交通問題、空き家対策など、本市が持つ課題が凝縮された地域でもあります。

昨年度は、「東山・まち・みらい計画2020」を着実に推進するため、平成23年度から平成26年度までのロードマップ（行程表）となる「前期推進プログラム」を策定しました。また、喫緊の課題にはプロジェクトを立ち上げるなど、本格的な推進に向けてのスタートを切りました。

「平成24年度東山区運営方針」では、今年度創設された、「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」を活用し、区民の皆様はもとより、大学、NPO等と協働し、東山ならではの地域力を生かした取組を推進してまいります。また、当運営方針に基づき、各室・課においては、区民の皆様にも満足度の高いサービスを提供し、信頼される区役所を目指して取組を進めてまいります。

I 東山区基本計画 前期推進プログラムについて

東山区基本計画を着実に推進するため、当計画を前期、中期、及び後期の3期に分けたプログラムを策定し、毎年点検、見直しを実施することとしています。

平成24年3月に開催した東山区基本計画推進委員会で審議し、前期プログラムにおいては、区基本計画で掲げている重点取組20項目を最優先に推進することを決定しました。

II 区民提案・共汗型まちづくり支援事業について

1 区民提案型支援事業

区基本計画の推進や、課題の解決に向けて、区民等の主体的取組について支援するもので、大きく「プロジェクト型事業」と「課題解決型・自由提案型事業」に分かれています。

(1) プロジェクト型事業

区基本計画における喫緊の課題を解決するため、東山区基本計画推進委員会で承認された以下のプロジェクトを、大学や地域の皆様と協働で推進します。

- ① 空き家の活用促進プロジェクト（5ページ）
- ② 手しごと職人のまち東山再発見プロジェクト（3ページ）
- ③ 地域の見守り支援プロジェクト（3ページ）

(2) 課題解決型・自由提案型事業

区基本計画に定める課題の解決に資する事業（課題解決型事業）や、自由な発想で地域の活性化につながる事業（自由提案型事業）に対し、支援を行います。

2 共汗型事業

「東山区の魅力発信」「地域の絆の強化」「人づくりと地域の活性化」の3つの観点から、区民等と区役所が共に汗して取り組む事業を「共汗型事業」として実施します。今年度実施する主な共汗型事業は以下のとおりです。

- (1) まちづくりカフェ@東山の運営（表紙写真、6ページ）
- (2) 観光支援コミュニティの創設

東山を訪れるだれもが安心・快適に観光を楽しめるユニバーサルツーリズムを目指し、商店や施設等による車いすの介助や荷物の一時預かり等、ソフト面でのおもてなしサービスを提供する観光支援コミュニティを創設します。

(3) 東山区民ふれあい事業の実施

ふれあいひろば、文化財鑑賞会、作品展、こどものまちなど、東山区民の区に対する愛着を深め、区民相互の交流とふれあいを促進するための事業を実施します。

Ⅲ 主要な取組

1 自然環境 目標 自然環境の保全

(1) 歩いて楽しむ東山の推進 重点取組 (地域力推進室, 都市計画局, 建設局)

バリアフリーのまちづくりをはじめ、歩行者や自転車が安全で快適に通行できる道路づくりを実現するための取組を進めるとともに、東大路通の渋滞緩和に向け、東山区における公共交通の利便性の向上を図り、交通渋滞の改善を目指した取組を推進するなど、「歩いて楽しむ東山」を推進します。

<取組目標>

- ・ 来訪者向けホームページ「歩いて楽しむ東山」の充実
- ・ 東山区交通安全対策協議会迷惑駐車追放推進部会による追跡調査及び夜間撤去活動の実施
- ・ 「歩いて楽しい東大路」整備基本構想の策定
- ・ 東山交通対策による交通の円滑化
- ・ 清水地区周辺での電線類地中化工事の推進
- ・ 本町下高松通の整備促進
- ・ バリアフリー化の推進

<前年度の取組>

- ・ 来訪者向けホームページ「歩いて楽しむ東山」の充実
- ・ 東山区交通安全対策協議会迷惑駐車追放推進部会による追跡調査及び夜間撤去活動の実施
- ・ 東大路通歩行空間創出推進会議の設置
- ・ 東山交通対策の実施（11月）
- ・ 清水地区周辺での電線類地中化工事の推進
- ・ 本町下高松通の整備促進
- ・ バリアフリー移動等円滑化基本構想（東福寺地区）に基づく事業計画の推進



東山交通対策の取組
(五条坂への一般観光車両流入抑制)



東山区来訪者向けホームページ
「歩いて楽しむ東山」

(2) 東山3K（観光・交通・環境）協力金会議と連携した取組の推進 (地域力推進室)

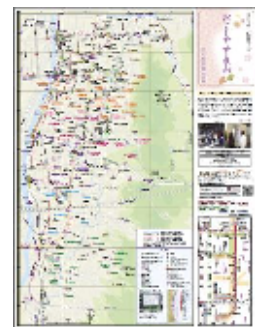
東山区の寺社、企業、団体等により設立された「東山3K（観光・交通・環境）協力金会議」と連携し、観光シーズンにおける交通渋滞や観光地周辺でのトイレ不足、ごみ問題など、多くの来訪者を迎える東山地域ならではの課題の改善を図り、魅力あふれる東山区のまちづくりを進めます。

<取組目標>

- ・ 交通誘導員配置事業の実施
- ・ 観光といれ事業の実施
- ・ 散策マップの作成、配布
- ・ 東山3K大賞の実施

<前年度の取組>

- ・ 交通誘導員配置事業の実施（2,394時間）
- ・ 観光といれ事業の実施（48箇所）
- ・ 歩いて楽しい散策マップ「おこしやす東山」の外国語版（英語、中国語、韓国語）を追加作成、配布



歩いて楽しい散策マップ
「おこしやす東山」

低炭素のモデル地区「エコ学区」事業について

エコ学区とは、低炭素社会実現に向け、2年間にわたり「省エネ学習事業」と「地域実験事業」等の地域独自の先進的な省エネの取組を実践していただく学区（学区の連合体含む。）として京都市が認定したもので、平成23年度、東山区では今熊野学区がエコ学区に認定され、寒い冬のエコな暮らし方を学ぶ学習会、男の料理教室などの取組が行われました。



2 産業・観光 **目標** 経済活動の活性化

(1) 手しごと職人のまち東山再発見 **重点取組【新規】**（地域力推進室）

古くから京都の文化や都市の営みを支えてきた伝統的な手しごとを継承する「職人」の技術は、今日もなお私たちの暮らしの中に息づいています。

大量生産により、安価で「もの」が供給され、その価値が見失われがちな今日、手しごとの値打ちや味わいを再発見し、「匠の技」が集積する東山区の魅力を広く発信し、伝統的な手しごとの活性化と継承を目指します。

<取組目標>

- ・ 職人情報の収集と調査・分析，課題の抽出，並びに取組基盤の整備
- ・ 技術の保存・継承に向けた対策の検討
- ・ 技術の魅力発信と魅力に触れる取組の推進を通じた伝統的産業と東山区の活性化

(2) だれもが観光を楽しめるユニバーサルツーリズムの推進（地域力推進室）

年齢や障害の有無にかかわらず、東山を訪れるだれもが安心・快適に観光を楽しめる地域を目指します。

<取組目標>

- ・ 誰もが安心できる観光支援コミュニティの創設 **【新規】**
高齢者や障害のある観光客の方が安心・快適に観光できるよう、温かくお迎えするためのまちづくりを進めます。

<前年度の取組>

- ・ ユニバーサルツーリズムコミュニティの設置に向けた意見交換会の実施（12月）

3 保健・福祉・教育 **目標** 健やかで心豊かな生活の確保

(1) 地域の見守り支援プロジェクト **重点取組【新規】**（地域力推進室）

高齢化が進み続ける中、地域住民，大学，区社会福祉協議会，地域包括支援センター，ボランティア団体等が協働し，高齢者を地域全体で見守り，高齢者と地域の方々の交流を促進し，セーフティネットの構築を進めます。

<取組目標>

- ・ 空き家，空き店舗等を利用した多世代が集える地域の居場所を開設（見守りサテライトの運営開始）
- ・ 地域住民や関係機関による高齢者の見守り体制強化（エリア支援の拡大）
- ・ 地域福祉に携わる方々に対し，保健センター，介護予防推進センターが，高齢者特有の諸問題についての研修を実施

(2) 保健・福祉・子育て支援の充実 **重点取組**（健康づくり推進課，衛生課）

進展する少子高齢化の中においても住み慣れた地域や家庭で，安心して子育てし，また，誰もがいきいきと暮らしていけるよう，関係機関との連携をより深めながら，各種保健，福祉サービスによる支援を行います。

<取組目標>

- ・ 妊婦への早期からの子育て支援の実施（保健師及び助産師等が第1子を妊娠した母親の家庭等を訪問）
- ・ 子育て中の親に対する、親同士や地域の子育て機関との交流の場を設定
- ・ 思春期を対象とした健康教室の実施
- ・ 地域で健康づくりを推進するサポーターの育成及び活動の充実
- ・ 子どものむし歯予防の取組を通じて、親子の生活習慣の改善を目指す。
- ・ ノロウィルス等の食中毒予防対策
- ・ 土産品等の包装食品の監視指導の強化
- ・ 人と動物の共生を目指した動物愛護の推進
- ・ 快適な生活環境・生活衛生関係施設等の衛生・飲用水の安全に対する取組

<前年度の取組>

- ・ 「こんにちははプレママ事業」の実施（平成23年7月から実施）
- ・ 「こんにちは赤ちゃん事業」の実施（出産後4か月までの乳児がいる家庭の訪問と、育児相談・指導）
- ・ 育児の孤立化を防ぐため、子育て交流会の開催（保健センターで11回、地域出張型2回実施）
- ・ 健康教室の受講や、グループでのウォーキング等、積極的な健康づくり活動の実践のための「健康づくりサポーター」を育成（27回実施）
- ・ 親子の健康づくり講話を、3歳児健診に併設して実施（12回実施）
- ・ 地域の子育て支援関係者とワークショップ形式でのお口の健康づくり・食育研修会の実施（3回実施）
- ・ 地域の子育て支援施設（保育園・児童館）で親子のお口の健康づくりプログラムの実施（8回実施）

(3) 地域の安心安全ネットワーク形成支援・継続応援事業（地域力推進室）

「第2次京都市生活安全（防犯・事故防止）基本計画」に基づき、各学区の「安心安全ネットワーク」を定着、更に発展をして、地域の安心安全、また地域コミュニティの活性化が進むよう、防犯用具の貸出しなどの幅広い分野で地域の総合的な安心安全のまちづくりを推進します。

○ **地域の安心安全ネットワーク形成支援事業**

<取組目標>

- ・ 地域の安心安全ネットワーク形成事業を活用した学区単位の活動支援（全学区で実施）
- ・ 子ども見守り活動の支援 ・ 東山区総合防災訓練の実施（元新道小学校）

○ **学区の安心安全ネット継続応援事業**

<取組目標>

- ・ 「学区の安心安全ネットワーク」の定着、活動支援（全学区で実施）
- ・ 東山開晴館を拠点とした防犯対策の強化、子ども見守り活動の支援
- ・ 高齢者の外出する機会をつくるための、様々な事業提供

○ **前年度の取組**（地域の安心安全ネットワーク形成支援・継続応援事業）

- ・ 有済・栗田・弥栄・新道・六原・清水・貞教・修道・一橋学区：子どもの見守り活動 等
- ・ 一橋・月輪・今熊野・新道・有济学区：高齢者見守り活動 等
- ・ 栗田学区：夜間パトロール 等 ・ 弥栄学区：観光案内ボランティア 等
- ・ 月輪学区：青パトの夜間パトロール 等 ・ 東山区総合防災訓練の実施（月輪小学校）
- ・ 今熊野学区：安心安全マップの作成準備 等
- ・ 貞教学区：貞教福祉祭り（安心安全啓発クイズ） 等



子ども見守り活動



高齢者見守り活動（高齢者が外出する機会をつくるための事業提供）



（有済・栗田・弥栄・新道・六原・清水・貞教・修道学区）

4 景観・都市基盤

目標 安全で快適な都市づくり

(1) 空き家を増やさないための取組の推進 **重点取組** (地域力推進室, 都市計画局, 文化市民局)

東山区内の空き家情報の把握と情報共有により、空き家を放置しないまちづくりを推進します。また、空き家の発生状況を分析し、活用策の提案や所有者への啓発などにより、空き家問題の解決に向けて取り組む「**空き家の活用促進プロジェクト**」を立ち上げ、検討を進めます。

さらに、都市計画局の「地域連携型空き家流通事業」のモデル学区に選定された、「六原まちづくり委員会」(六原学区)が、空き家を活用して地域に人を呼び込む取組を支援します。

<取組目標>

- ・ 空き家の活用促進プロジェクトの取組推進
- ・ 地域連携型空き家流通促進事業の支援
- ・ 若手芸術家の居住・製作・発表の場としての空き家活用の推進

<前年度の取組>

- ・ 「六原まちづくり委員会」の設立, 取組の開始
- ・ 若手芸術家等の居住・製作発表の場づくり実行委員会の設立, 取組の開始

(2) 木造文化を守り、災害に強いまちづくり **重点取組**【新規】 (地域力推進室, 消防局)

情緒ある町並みを生み出す木造文化を次世代に継承するため、木造住宅の防火性能や耐震性の向上を促進し、災害に強いまちづくりを目指します。また、東日本大震災の経験を踏まえ、地域住民や関係機関等と連携を図り、東山ならではの地域力を活かした災害に強いひとづくり・まちづくりを推進します。

<取組目標>

- ・ 住民による夜回り, 火の用心などの活動の推進
- ・ 区防災訓練の実施
- ・ 区防災計画の点検, 及び関連マニュアルの見直し
- ・ 自主防災会等との連携強化
- ・ 地域の実情に応じた避難所運営マニュアルの策定

<前年度の取組>

- ・ 区防災訓練の実施 (10月)

5 コミュニティ・自治

目標 地域力の向上

(1) 世代間交流ネットワークの推進 **重点取組** (地域力推進室)

少子高齢化が進む東山区で、多世代間交流の場を創出し、次世代を担う子どもたちをまち全体で育て、お互いが支え合い、だれもがいきいきと活躍できるまちづくりを進めます。

<取組目標>

- ・ 東山区民ふれあいこどものまち事業の充実 (表紙写真)
子どもたちが『仮想のまち』体験イベントとその準備作業を通じ、まちづくりについて興味を深め、未来のまちづくりの担い手としての意識を育てます。

<前年度の取組>

- ・ 東山区民ふれあいこどものまちの実施 (12月~2月) (再掲)

(2) 地域と大学の連携による東山区のまちづくりの推進 (地域力推進室)

行政が、大学・短期大学が持つ資源や地域ニーズをコーディネートし、地域と大学相互の人的・知的資源の交流, 活用を通じて、地域主体のまちづくりの促進を図ります。

<取組目標>

- ・ プロジェクト型事業の推進 (空き家の活用促進プロジェクト, 手しごと職人のまち東山再発見プロジェクト, 地域の見守り支援プロジェクト)
- ・ 東山区民ふれあいこどものまち事業の充実 (再掲)

- ・ 誰もが安心できる観光支援コミュニティの創設（再掲）
- ・ 大学と地域の連携・協力に関する地域、大学への情報提供

<前年度の取組>

- ・ プロジェクト型事業の立ち上げ
- ・ 東山区民ふれあいこどものまちの実施（12月～2月）
- ・ ユニバーサルツーリズムコミュニティの設置に向けた意見交換会の実施（12月）（再掲）

(3) 「まちづくりカフェ@東山」の運営【新規】（地域力推進室）（表紙写真）

東山に関心のある方々の交流・情報交換の場を運営することにより、自主的・主体的なまちづくり活動を支援し、新たなまちづくりの担い手を育成します。

<取組目標>

- ・ 交流会の開催
- ・ 電子ツール（区ホームページ、Facebook）による情報発信・交換
- ・ 情報発信・活動・交流の場の整備
- ・ 活動グループと地元、関係機関（関係行政機関、地元自治連合会、各種団体）との橋渡し
- ・ 活動資金の助成（東山区まちづくり支援制度）

(4) 区民サービス向上の取組（区役所各室課）

「笑顔・親切・ていねい・テキパキ！」を合言葉に、区民からの問合せ等に対する迅速な対応など、市民目線での窓口サービスの向上に努めます。

<取組目標>

- ・ 庁内公募による「東山区役所市民サービス向上プロジェクトチーム」を中心に、ハード・ソフトの両面から改善を行う。

<前年度の取組>

- ・ 来庁者が目的の窓口迷わずに行けるよう、庁内案内板の改善及び増設。

粟田大燈呂（あわただいとうろ） 合槌稲荷（あいづちいなり）（表紙写真）

粟田大燈呂は、粟田祭の際に巡行し、多くの見物客が押し寄せたと文献にも残っていますが、江戸時代末期頃に途絶えてしまいました。約180年の年月を経て、平成20年に地域と京都造形芸術大学との協働により、復興しました。

平成24年3月に行われた京都・東山花灯路-2012では、合槌稲荷の他4基の大燈呂が、知恩院三門前広場に展示され、写真スポットとなっていました。

IV 東山区役所各室・課の取組目標

地域力推進室	<ul style="list-style-type: none"> 「東山・まち・みらい計画2020」の実現に向けて、区民や地域、事業者の皆様と協働で、計画を推進します。 東山区の喫緊の課題である「空き家の活用促進」、「手しごと職人のまち東山再発見」及び「地域の見守り支援」について取組む3つのプロジェクトの運営を行うとともに、東大路のあり方検討を進めます。 区内各種団体等と連携し、区民ふれあい事業、安心安全なまちづくり、体育振興等を推進します。 区内の寺社、企業、団体等により設立された「東山3K（観光・交通・環境）協力金会議」と連携し、魅力あふれる東山区のまちづくりを進めます。 「東山区役所市民サービス向上プロジェクトチーム」での取組を推進し、区民の皆様により快適に区役所を御利用していただけるように努めます。 木造住宅の防火性能や耐震性の向上を促進し、災害に強いまちづくりを目指します。また、東日本大震災の経験を踏まえ、地域住民や関係機関等と連携を図り、京都ならではの地域力を活かした災害に強いひとづくり・まちづくりを推進します。
市民窓口課	<ul style="list-style-type: none"> 「笑顔・親切・丁寧・テキパキ」を窓口対応の基本とし、個人情報保護と適正な業務執行にも配慮し、信頼される業務に努めます。 来庁された市民の方には、積極的に声をかけ目的部署への案内等必要なサービスを提供できるよう努めます。
課税課	<ul style="list-style-type: none"> 地方自治体の自主財源を安定して確保するため、区民の皆様が目線に立ち「親切・丁寧・わかりやすい」対応を心がけ、市税に対する理解を深めていただけるよう、わかりやすい説明に努めます。 公平・公正な課税を実施するため、課税資料の収集と調査を強化し、適正かつ公平な課税を一層進めるとともに、個人情報を厳格に管理します。
納税課	<p>市税は、福祉やまちづくり、保健衛生やまちの美化など、市民の皆様のご生活に関わりの深い様々な事業に必要な財源です。</p> <p>適正かつ公平な徴収業務を推進し、市税収入のより一層の確保に努めます。</p>
福祉介護課	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化を見据えて予算組みされた平成24年度福祉各施策について区役所業務としての役割や福祉業務らしさを意識して、より満足度の高いサービスを次のおり提供してまいります。 子ども医療をはじめとした、拡充や新たに実施される制度などに的確に対応し、区民の皆様への周知や説明責任を果たすと同時に、法令を順守し、適正・公平な業務運営に努めてまいります。 区民の皆様が目線に立って、笑顔で親切、丁寧、テキパキとした窓口対応に努めてまいります。 区民の皆様のご権利・義務に係る重要な個人情報を大切に取扱い、決定してまいります。
支援保護課	<ul style="list-style-type: none"> 住み慣れた地域や家庭で安心していきいきと暮らしていただけるよう、「必要な人に必要な支援」を基本とした適切で温かい福祉サービスを提供するよう努めます。そのために、関係機関・関係部署との連携をより深め、地域福祉のネットワークを更に強化できるよう取り組みます。 区民の皆様が目線に立って、笑顔で親切、丁寧、テキパキとした窓口対応に努めてまいります。 区民の皆様のご権利・義務に係る重要な個人情報を大切に取扱い、決定してまいります。
保険年金課	<ul style="list-style-type: none"> 複雑な制度等、市民の方に分かりにくい面も御理解いただけるよう、常に「親切、丁寧、わかりやすい」対応に努めるとともに、迅速で正確な事務処理を心掛けてまいります。 制度の公平・公正な運営を図るとともに、国民健康保険料の徴収率向上に努めます。
健康づくり推進課	<ul style="list-style-type: none"> 迅速に業務を進めるとともに、健診・相談事業、健康教育、訪問等による、地域の健康づくりを推進します。 区民の皆様のご立場に立って、親切・丁寧な対応を心掛けます。 プライバシーに配慮した対応を心掛けると同時に、個人情報の厳重な管理を徹底します。
衛生課	<ul style="list-style-type: none"> 区民の皆様のご安全・安心を確保するため、地域に密着した監視指導を促進し、食中毒予防や生活衛生関係施設の衛生対策に努めます。 窓口でのご相談に対し、親切・丁寧でわかりやすい説明に努めます。

V 東山区運営の総括表

取組分野	平成24年度の取組			平成23年度の実績
	取組名	目標	所属等	実績
自然環境	1 歩いて楽しむ東山の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「歩いて楽しい東大路」歩行空間創出事業 ・東山交通対策による交通の円滑化 ・電線類地中化工事の推進 ・本町下高松通の整備促進 ・バリアフリー化の推進 ・来訪者向けホームページ「歩いて楽しむ東山」の充実 ・迷惑駐車を追放する取組の推進 	地域力推進室 都市計画局 建設局	<ul style="list-style-type: none"> ・東大路歩行空間創出推進会議の設置 ・東山交通対策による交通の円滑化(11月) ・松原通の電線類地中化工事の推進 ・本町下高松通の整備促進 ・JR東福寺駅のバリアフリー化
	2 東山3K(観光・交通・環境)協力金会議と連携した取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・交通誘導員配置事業の実施 ・観光といれ事業の実施 ・散策マップの配布 ・3K大賞 	地域力推進室	<ul style="list-style-type: none"> ・交通誘導員配置事業の実施(延べ2,394時間の配置) ・観光トイレ事業の実施(48箇所) ・外国語(英語・中国語・韓国語)版散策マップの作成、配布
産業・観光	1 手しごとと職人のまち東山再発見	<ul style="list-style-type: none"> ・職人情報の収集と調査・分析、課題の抽出、並びに取組基盤の整備 ・技術の保存・継承に向けた対策の検討 ・技術の魅力発信と魅力に触れる取組の推進を通じた伝統的産業と東山区の活性化 	地域力推進室	新規事業
	2 だれもが観光を楽しめるユニバーサルツーリズムの推進	誰もが安心できる観光支援コミュニティの創設	地域力推進室	ユニバーサルツーリズムコミュニティの設置に向けた意見交換会の実施(12月)
保健・福祉・教育	1 地域の見守り支援プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家、空き店舗等を利用した多世代が集える地域の居場所を開設(見守りサテライトの運営開始) ・地域住民や関係機関による高齢者の見守り体制強化(エリア支援の拡大) ・地域福祉に携わる方々に対し、保健センター、介護予防推進センターが、高齢者特有の諸問題についての研修を実施 	地域力推進室	新規事業
	2 保健・福祉・子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター等関係機関の介護予防活動に対する支援の充実 ・少子長寿化に対応した各種福祉サービスの充実(子育てサロン増設の検討、支援を要する子ども達への充実した援助方法の検討、一人暮らしの高齢者の見守り体制の強化等) ・第二期東山区地域福祉活動計画推進の支援と第三期同計画策定への参画 	福祉介護課 支援保護課 健康づくり推進課 衛生課	<ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会の開催 ・地域包括支援センター連絡会議への出席 ・予防給付ケアマネジメント支援事業の実施 ・各地域包括支援センターでの介護予防ケアプランチェック(助言・指導) ・要支援者への均一で良質な介護予防の為のケアプラン提供を目的とした事例検討方式による区内3地域包括支援センター合同勉強会の実施 ・「一人暮らしお年寄り見守りサポーター」養成講座の実施等 ・子育て講演会の開催 ・子育て情報誌、子育て支援リーフレット、子育て支援マップの作成 ・地域福祉推進シンポジウムの開催

V 東山区運営の総括表

取組分野	平成24年度の取組			平成23年度の実績
	取組名	目標	所属等	実績
保健 ・ 福祉 ・ 教育	2 保健・福祉・ 子育て支援 の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「こんにちはプレママ事業」を継続実施し、妊婦への早期からの子育て支援(保健師及び助産師等が第1子を妊娠した母親の家庭等を訪問) ・子育て中の親に対する、親同士や地域の子育て機関との交流の場を設定 ・思春期を対象とした健康教室の実施 ・地域で健康づくりを推進するサポーターの育成及び活動の充実 ・地域の子育て支援関係者と連携し、子どものむし歯予防の取組を通じて、親子の生活習慣の改善を目指す。 ・ノロウイルス等の食中毒予防対策 ・土産品等の包装食品の監視指導の強化 ・人と動物の共生を目指した動物愛護の推進 ・快適な生活環境・生活衛生関係施設等の衛生・飲用水の安全に対する取組 	福祉介護課 支援保護課 健康づくり 推進課 衛生課	<ul style="list-style-type: none"> ・「こんにちはプレママ事業」の実施(平成23年7月から実施) ・「こんにちは赤ちゃん事業」の実施(出産後4か月までの乳児がいる家庭の訪問と、育児相談・指導) ・育児の孤立化を防ぐため、子育て交流会の開催(保健センターで11回、地域出張型2回実施) ・健康教室の受講や、グループでのウォーキング等、積極的な健康づくり活動の実践のための「健康づくりサポーター」を育成(27回実施) ・保護者の歯科検診と親子の健康づくり講話を、3歳児健診に併設して実施(12回実施) ・地域の子育て支援関係者とワークショップ形式でのお口の健康づくり・食育研修会の実施(3回実施) ・地域の子育て支援施設(保育園・児童館)で親子のお口の健康づくりプログラムの実施(8回実施) ・社会福祉協議会への食中毒予防講習会を実施 ・大学学園祭への食の安全を意識した講習会を実施 ・「楽しく学ぼう食の安全」親子体験ツアー施設見学を実施
	3 地域の安心 安全ネット ワーク形成 支援・継続応 援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の安心安全ネットワーク形成事業を活用した学区単位の活動支援(全学区で実施) ・子ども見守り活動の支援 ・東山区総合防災訓練の実施(元新道小学校) ・「学区の安心安全ネットワーク」の定着、活動支援(全学区で実施) ・東山開晴館を拠点とした防犯対策の強化、子ども見守り活動の支援 ・高齢者の外出する機会をつくるための、様々な事業提供 	地域力推進室	<ul style="list-style-type: none"> ・有濟、新道、一橋、月輪、今熊野学区:高齢者見守り活動 等 ・粟田学区:夜間パトロール 等 ・弥栄学区:観光案内ボランティア 等 ・六原、清水、修道、一橋、有濟・粟田・弥栄・新道・六原・清水・貞教・修道学区:子ども見守り活動 等 ・貞教学区:貞教福祉祭り(安心安全啓発クイズ) 等 ・月輪学区:青バトの夜間パトロール 等 ・今熊野学区:安心安全マップの作成準備 等 ・東山区総合防災訓練の実施(月輪小学校)
景観 ・ 都市基盤	1 空き家を増 やさないため の取組の推 進	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用促進プロジェクトチームの取組推進 ・地域連携型空き家流通促進事業の支援 ・若手芸術家の居住・製作・発表の場としての空き家活用の推進 	地域力推進室 都市計画局 文化市民局	<ul style="list-style-type: none"> ・六原まちづくり委員会の設立、取組の開始 ・若手芸術家等の居住・製作発表の場づくり実行委員会の設立、取組の開始
	2 木造文化を 守り、災害に 強いまちづく り	<ul style="list-style-type: none"> ・区防災訓練の実施 ・区防災計画の点検、及び関連マニュアルの見直し ・自主防災会等との連携強化 ・地域の実情に応じた避難所運営マニュアルの策定 	地域力推進室 消防局	新規事業

V 東山区運営の総括表

取組分野	平成24年度の取組			平成23年度の実績
	取組名	目標	所属等	実績
コミュニティ・自治	1 世代間交流ネットワークの推進	東山区民ふれあいこどものまち事業の充実	地域力推進室	東山区民ふれあいこどものまちの実施（12月～2月）（再掲）
	2 地域と大学の連携による東山区のまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト型事業の推進（空き家の活用促進プロジェクト、手しごと職人のまち東山再発見プロジェクト、地域の見守り支援プロジェクト） ・東山区民ふれあいこどものまち事業の充実（再掲） ・誰もが安心できる観光支援コミュニティの創設（再掲） ・大学と地域の連携・協力に関する地域、大学への情報提供 	地域力推進室	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト型事業の立ち上げ ・東山区民ふれあいこどものまちの実施（12月～2月） ・ユニバーサルツーリズムコミュニティの設置に向けた意見交換会の実施（12月）（再掲）
	3 「まちづくりカフェ@東山」の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・交流会の開催 ・電子ツール（区ホームページ、Facebook）による情報発信・交換 ・情報発信・活動・交流の場の整備 ・活動グループと地元、関係機関（関係行政機関、地元自治連合会、各種団体）との橋渡し ・活動資金の助成（東山区まちづくり支援制度） 	地域力推進室	新規事業
	4 区民サービス向上の取組	庁内公募による「東山区役所市民サービス向上プロジェクトチーム」を中心に、ハード・ソフトの両面から改善を行う。	区役所各課	来庁者が目的の窓口迷わずに行けるよう、庁内案内板の改善及び増設。